

### 3 今後の指導改善に向けて

#### ■メッセージ1 ■ ~「チーム学校」としての取組~

小・中学校の校長代表者、市町村・県教育委員会代表者で話し合いました。



#### 管理職・学力向上推進教師がリーダーシップを發揮して、 「チーム学校」で学力向上に取り組みましょう

##### 全職員の共通理解

- ・調査問題を全職員が解く。
- ・学校全体・学年・教科の課題をとらえ、責任をもつ。
- ・家庭との連携を密にし、家庭学習の充実を図る。

##### 学力向上推進教師の 推進力

- ・調査の分析結果を全職員に伝える。
- ・分析結果を踏まえた校内研修の見通しを示す。
- ・具体的な授業改善のアイデアを紹介する。

##### 管理職の決断

- ・管理職自らが、児童生徒の学力・学習状況を分析する。
- ・学力向上推進教師等と指導改善の戦略を練る。
- ・互いに学び合い・支え合うことができる職員集団をつくる。

#### 指導改善サイクルの確立

##### Plan

調査結果分析等を踏まえ、自校の実態や指導改善に向けた方針等からなる「指導改善プラン」を作成する。

十分に行った	どちらかといえず行った
61.8%	36.5%

##### Do

全職員で協力して指導方法等の工夫改善を図る。

十分に行った	どちらかといえず行った
49.0%	49.1%

##### Action

取組の成果と課題を踏まえた改善方策をもとに、更なる指導方法等の工夫改善を図る。

「平成 26 年度県学習状況調査学校質問紙調査結果」から

十分に行った	どちらかといえず行った
32.5%	59.2%

##### Check

取組の成果と課題を各種調査や単元テスト等を活用して分析し、次の改善方策を明確にする。

#### 「3つの見届ける」を大切にした授業の具現

#### 【今（1学期）、全職員で確かめ合いましょう！】

##### ① 家庭学習の充実（夏休み前の保護者との懇談会で話題しましょう。）

- ・どんな宿題や自主学習に取り組ませるとよいか。
- ・家庭学習をどのように見届けるとよいか。
- ・家庭学習に取り組むことができない子には、どのように支援したらよいか。



##### ② 互いに学び合い、支え合うことができる職員集団づくり

- ・〇〇科の学習指導で困ったときに、頼りになる先生は誰か。
- ・研究授業は、どのような単元を行うとよいか。授業を見る観点は何か。
- ・日常的に授業について気軽に相談し合うことができるようにするために、どのようなことに心がけたらよいか。

学校が一丸となる  
ことが  
最大の学力向上策

##### ③ 少人数指導・個別指導の充実

- ・習熟度別少人数指導のグループ分けは、どのようにしたらよいか。
- ・学習内容の定着が不十分な児童生徒に対して、授業時間以外に学習サポートをする場をつくることはできないか。

# 平成27年度 指導改善サイクル年間カレンダー

～ C (Check) の機会を明らかにして、指導改善を進めましょう～

